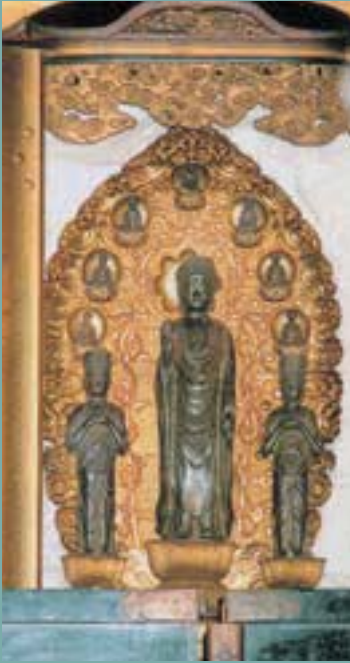


善光寺大勧進



善光寺本坊大本山大勧進は、開山本田善光公以来代々善光寺如来に奉仕する善光寺別当職として昔より如来開帳の法務に任じてきた。大勧進本尊は、伝・聖徳大師作の一光三尊善光寺如来である。伝教大師が信濃路巡化のみぎり、善光寺如来の宝前に参籠せられて、爾来天台の宗風の信徒から尊崇を集めている。大勧進を本坊とする天台宗一山二十五寺院の各住職と貫主が、毎朝、善光寺本堂へ出仕し、お朝事の勤めを行っている。金堂御本尊は、白雉五（六五四）年以來の秘仏であり、この御本尊の御身代わりとして前立本尊（重文）が作られ、爾来無量寿殿奥隅に御安置しており、七年に一度の盛儀大開帳の時だけ特別にお姿を拝むことができる。期間中は、全国から多くの善男善女の参詣で賑わう。大勧進の境内には、室町様式の庭園をはじめ、萬善堂（本堂）、無量寿殿、不動堂、地藏堂、宝物館などが配置されている。

住所／〒380-8501 長野県長野市元善町492

電話番号／026-234-0001

拝観時間／8:00～15:00

宝物館拝観時間／8:00～14:30

諸行事・拝観料ほかは、HP (<http://www.daikanjin.jp>) をご覧下さい。

善光寺大勧進